

# 答 申 書

～ 留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について～

平成27年11月  
留辺蘂まちづくり協議会



平成27年11月20日

北見市長 辻 直 孝 様

留辺蘂まちづくり協議会  
会長 横 田 正 純

留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について（答申）

平成27年9月2日付けで諮問のありました自治区内事業の今後のあり方について、慎重に協議を重ねました結果、別紙のとおり答申いたします。



## 【答申にあたって】

留辺蘂まちづくり協議会は、平成27年9月2日、北見市が策定した総合計画後期基本計画等における「留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について」の諮問を受け、北見市の将来像「ひと・まち・自然きらめくオホーツク中核都市」を目指すため、それぞれの基本目標に掲げられた分野別の施策ごとに、自治区別整備方針に沿えるよう、地域課題を確認しながら特色ある自治区づくりを目指すため協議を重ねてきました。

議論の進め方については、既に実施されている事業、及び実施計画で採択されている継続事業27件と第8次実施計画に新たに登載する予定の新規事業31件について担当から説明を受け、これに対する質疑を行い、さらに委員相互の意見交換を行ったうえで、事業の必要性、単に要求だけの提案をするのではなく、北見市の厳しい財政状況を勘案するとともに、事業それぞれの費用対効果などを検討しながら意見を取りまとめたところであります。

答申として述べた地域課題は、いずれも序列をつけがたいものがありますが、自治区として優先的に必要とする事業を明確に位置づけております。

市長におかれましては、第8次実施計画事業等における留辺蘂自治区に関連する事業を実施するにあたって、本答申の主旨を十分に尊重されますとともに、下記の事項に配慮していただきますよう答申します。

### 記

- 1 快適で過ごしやすい生活環境を創造することは、市民全ての願いであり、住みたいまちの条件でもあります。安全で安心して暮らすことができるよう、市民生活の基礎を支えるための取り組みを期待します。
- 2 産業の振興は、地域の活性化に欠かせません。恵まれた地域資源を積極的に活用し、産業基盤を強化するとともに雇用の場を確保し、地域の特性を生かした産業や産物を北見市の魅力として発信し、全国的な広がり結びつけていくことを期待します。

- 3 事業の実施にあたっては、主旨や内容をわかりやすい形で積極的に市民に周知し広く理解や協力を得るとともに、多くの市民の参画を求めながら事業に取り組まれるよう期待します。
- 4 市の行財政を取り巻く状況は、国の各種制度改革などにより大きく変わってきています。

これらの変化に対応し、限られた財源や人材を最大限有効に活用できるよう、既存の行政システムの見直しと財政の健全化を図り、コスト削減に努めながら、市民にとって真に必要なサービスを効果的・効率的に提供していくために、徹底した行財政改革を推進されますよう期待します。
- 5 これから整備を予定している施設については、市民の意向を反映するため企画立案段階から多くの市民の参画を求めるとともに、既存の施設も含めて、多くの市民が多角的に利用することができる機会づくりなど、ソフト事業にも工夫を凝らし有効に活用されることを期待します。

#### 【留辺薬まちづくり協議会】



## 【留辺蘂自治区内事業の今後のあり方について】

### 留辺蘂らしさについて

留辺蘂自治区は、無加川流域の肥沃な大地で営まれる農業と、豊かな森林資源を活かした林業・林産業、そして、おんねゆ温泉郷を核とした観光を中心に発展してきました。

農業では、作付面積日本一を誇る「白花豆」、林業・林産業では、国内有数の生産量を誇る「経木」のほか、間伐材を活用した集成材や木材加工品、クラフト製品、観光では、リニューアルした「山の水族館」が話題となり、明治32年の開湯から116年を有するおんねゆ温泉郷を核として年間約67万人の観光客が訪れ、オホーツク圏域の西の玄関口としての役割を果たしております。

今、地方を取り巻く経済情勢は依然として厳しい状況ではありますが、北見市にある豊かな資源を最大限に活かし、地域の歴史や文化、特性などを尊重し、機能を分担しながら北見市全体の均衡ある振興発展に努める必要があります。

### 記

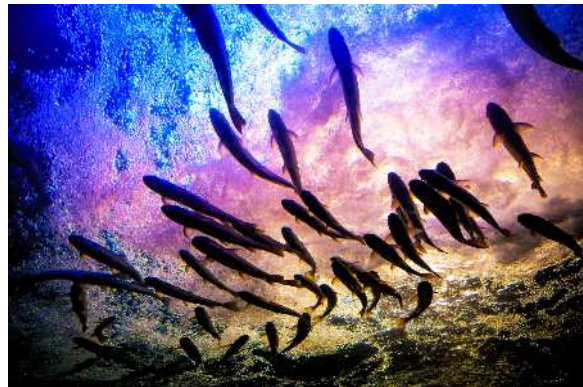
- 1 旧留辺蘂町は、国民体育大会弓道競技の開催が決定した昭和56年に「福祉とスポーツの町」を宣言し、安心して楽しい生活ができる地域、社会づくりとスポーツを通じて健全な青少年の育成を願い、町民同士がその意義を確かめながらまちづくりを進めてきました。

福祉では、社会福祉協議会を中心にボランティア団体等の協力により地域の福祉活動が推進され、特に大和地区と瑞穂地区では、ノーマライゼーションエリアの指定を受け、高齢者や障がいを持った人と健常者が共にノーマライゼーションの理念に基づきながら、地域ぐるみで行事やボランティア活動に取り組んできたところであり、また、留辺蘂高校をはじめ、自治区内の小中学校においても、社会福祉協議会事業の指定等を受けながら、福祉ボランティア活動や校区内の地域特性を生かした体験学習等が活発に行われてきております。

高齢化の進行が著しい中、安心していきいきとした老後を過ごせる地域づくりを推進していくためにも、今後も、地域住民がお互いに協力しながら自治区全体で「福祉とスポーツでまちづくり」を基本目標として進めていくことが必要です。

2 平成24年7月にリニューアルオープンした「山の水族館」は、日本初の滝つぼ水槽や世界初の川が凍る水槽などのユニークな展示施設として生まれ変わり、道内はもとより全国から多くの観光客が訪れる観光スポットになり、平成27年10月末までの水族館の入館者は延べ79万人を超えております。

【山の水族館】



しかし、観光客入込数は前年度比で16%減少となっており、今後においては、この集客力を持続させるための魅力づくりや一度訪れていただいた方に再び訪れていただけるような景観を含めた環境整備について、地域住民や関係機関と一体となった取り組みを進めることが重要であると考えます。

また、道内、管内、周辺地域の関係機関・団体等とも連携を図り、安全・安心な観光地のイメージ回復に努めるとともに、人口減少に伴い日本人観光客の増加が見込めないことから、国際化の進展により、増大する外国人観光客の誘致など海外へ向けての積極的なPR活動を行うことも必要であります。

さらには、高速道路や高規格道路等の整備が進んだことから、主要国道である国道39号線の交通量は減少傾向にありますが、主な幹線道路の要所に当地域の案内看板を設けるなど、少しでも多くの人々を当地域に招き入れるような工夫を図るとともに、おんねゆ温泉山の水族館利用促進連絡会議と連携しながら、「山の水族館」を核とする温根湯温泉街再生整備計画事業の成果を活かして、地域の歴史や文化、祭り等の観光資源の重要性を再認識したうえで、今後のおんねゆ温泉郷のまちづくりを地域住民の協力を得ながら進めていく必要があります。



## 基本目標 1 . 自然と共生する安全・安心のまちづくり

### 【最優先に取り組むべき事業】

#### 河川改修事業

近年の集中豪雨による急激な河川増水などを考えても、侵食されている自然河道や老朽化した護岸の改修については、背後地の侵食被害を招かぬためにも、早期に実施すべきと考えます。

#### 留辺蘂自治区河川土砂上げ事業

ハナワビバウシ川及び大和川においては、中州の発達や樹木の繁茂により河道面積が減少し、増水時の流下阻害や河床と護岸施設の破壊などが危惧されていることから、治水能力の向上を図るために、河川環境に配慮しながら計画的に土砂上げや支障木伐採を実施すべきと考えます。

#### 道路維持作業用自動車更新事業

平成 8 年に購入した道路維持作業用車両は、近年故障が頻発していることから、道路維持作業に支障をきたしている状況にあります。公用車両購入に係る更新の目安を満たしているとともに、災害などの緊急時の円滑な対応が必要となることから、早急に作業用車両の更新を進めるべきと考えます。

#### 街路灯 L E D 化事業

街路灯を LED 化することで、近年大量発生しているマイマイガなどの害虫対策や電気の省力化を図るため、早急に改修を進めるべきと考えます。

#### 広域連携 P F I 最終処分場期間延長事業

P F I の手法により建設された埋立ごみ受入れ施設の最終処分場は、平成 1 6 年に供用を開始し、1 5 年間の運営期間が平成 3 0 年度で終了となります。運営期間終了時には施設計画埋立量の 4 割程度となることから、特定事業計画に基づき、埋立が未完了の際の運営期間を延長するため、早急に事前調査を行い基礎資料を作成すべきと考えます。

【富岡最終処分場】



#### 留辺蘂総合支所重油地下貯蔵タンク腐食防止対策事業

総合支所敷地に埋設されている重油地下貯蔵タンクは、昭和 5 2 年 1 0 月 3 1 日の設置であります。省令上「腐食のおそれの高い地下貯蔵タンク」に該当するため、平成 2 9 年 1 0 月 3 0 日までに省令に定められている措置を講じなければならぬことから、早急に実施すべきと考えます。

## 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業

### 公園安全対策事業

老朽化した都市公園施設については、公園利用者の安全確保を図るとともに、より多くの方々に利用していただくためにも、安全できれいな施設への改築や更新が必要であり、緊急度の高いものから計画的に整備を進めるべきと考えます。

## 基本目標 2 . 豊かな心と文化を育てるまちづくり

### 【最優先に取り組むべき事業】

#### 留辺薬町公民館耐震診断・現況調査事業

昭和52年に建築された公民館は、築後38年を経過しているため、建物、設備ともに老朽化が進んでいることから、利用者の安全確保を図るとともに地域の防災施設として住民の安全を確保するためにも、耐震改修促進法及び北見市耐震改修促進計画に基づく耐震診断を早急に実施し、今後必要となる施設整備を検討していくべきと考えます。

【留辺薬町公民館】



#### 留辺薬町公民館自動扉部品取替修繕事業

留辺薬町公民館は、幅広い年代の方に利用されており、生涯学習の場として重要な役割を果たしていますが、現在、設置している自動扉装置の製造が平成22年で終了していることから、利用者の安全確保及び施設の効果的な管理をするために必要な修繕は早急に進めるべきと考えます。

#### 留辺薬小学校改築事業

耐震診断により危険建物と判定された留辺薬小学校については、改築事業として実施することとしています。改築にあたっては地域の特色を生かした木造・木質化を基調とするとともに、地域の教育環境の向上を図る整備を早急に進めるべきと考えます。

【留辺薬小学校】



#### スクールバス整備事業

瑞穂地区から平成30年3月末での瑞穂小中学校の廃止についての要望があり、廃校後の瑞穂地区の児童生徒の通学手段の確保を図るため、スクールバスの購入を最優先に進めるべきと考えます。

#### 給食センター改築事業

#### 給食センター改築に伴う備品購入事業

留辺蘂小学校の改築工事にあわせて、給食センターの改築工事は必要不可欠であり、今後において、より衛生的で安全・安心な給食を提供するためにも、施設の改築及び備品設備の更新は早急に進めるべきと考えます。

#### 給食配送車購入（更新）事業

平成6年に購入した給食配送車は、留辺蘂自治区内の小中学校6校のうち4校に学校給食を配送及び回収業務を行っていますが、経年老朽化が進んでおり、故障時には車両の代替性がないことから、早急に車両の更新を進めるべきと考えます。

#### 留辺蘂児童館建設事業

留辺蘂小学校改築事業に併せた複合施設としての留辺蘂児童館の建設は、利用児童・生徒の安全確保と今後の児童館及び放課後児童クラブの運営の充実を図るうえで必要不可欠な事業であり、早急に進めるべきと考えます。

#### 留辺蘂町青少年会館陶芸窯更新事業

平成8年に導入した陶芸窯の老朽化により、焼きあがりがかうまうまいことあることから、創造活動を続ける市民の制作意欲の向上につなげて行くためにも、陶芸窯の更新は早急に進めるべきと考えます。

#### 留辺蘂町体育館耐震診断・現況調査事業

昭和55年に建築された体育館は、築後35年を経過しているため、建物、設備ともに老朽化が進んでいることから、利用者の安全確保を図るとともに地域の防災施設として住民の安全を確保するためにも、耐震改修促進法及び北見市耐震改修促進計画に基づく耐震診断を早急を実施し、今後必要となる施設整備を検討していくべきと考えます。

【留辺蘂町体育館】



#### 八方台スキー場人工降雪用ポンプ設備更新整備事業

八方台スキー場は市民等が利用するほか、道内はもとより全国からスキー選手が合宿に訪れる施設です。現在、人工降雪機用ポンプ設備は更新時期にきており、スキー場の安定した集客を図るため、早急に更新を進めるべきと考えます。

#### 旭公園第一野球場改修事業

旭公園第一野球場の得点板は旧ルールの上B O表示のままであり、また、バッ



クスクリーンも老朽化による劣化が著しい状況にあることから、現在のルールに則った使用しやすい野球場として利用促進を図るため、早急に改修を進めるべきと考えます。

#### 八方台森林公園パークゴルフ場架橋改修事業

八方台森林公園パークゴルフ場は多くの市民等が利用しており、駐車場とクラブハウス間の橋及びコース間の橋はいずれも木製で、老朽化による劣化が著しい状況にあることから、利用者が安心してプレーを楽しむため、早急に改修を進めるべきと考えます。

【八方台森林公園パークゴルフ場】



#### エゾムラサキツツジ群落開放に係る防火用備品更新事業

温根湯エゾムラサキツツジ群落は北海道指定天然記念物に指定されていますが、ツツジの群落が存在する場所は民有地であり、所有者との間で防火に関する協定を結んでいるところです。開花時期にツツジの群落地を一般開放しているため、協定で防火備品の設置が義務付けられていますが、防火備品の劣化が著しく、十分な機能を発揮できる状態ではないことから、早急に防火備品の更新を進めるべきと考えます。

#### 【優先的に取り組むべき事業】

休養施設ばるむ置修繕事業

旭公園多目的グラウンド整備事業

### 基本目標3 . 支えあい、一人ひとりを大切にするまちづくり

#### 【最優先に取り組むべき事業】

○養護老人ホーム静楽園施設整備

○養護老人ホーム静楽園調理器整備

平成14年に移転改築を行った静楽園の施設設備、調理器具等は、改築後に更新されていないことから、機器類の経年劣化や損耗等が著しいため、緊急度の高いものから計画的に機器類の更新を進めるべきと考えます。

【静楽園】



#### 【優先的に取り組むべき事業】

養護老人ホーム静楽園災害時備蓄食料品整備

## 基本目標４．活力を生み出す産業振興のまちづくり

### 【最優先に取り組むべき事業】

○農業振興施設整備事業（花えーる整備）  
おんねゆ温泉農業交流センター花えーるは平成19年の開館から8年が経過し、木造建築である外壁は塗装がはがれ、カビも目立ってきており、地域交流を深め、豊かで潤いのある農村づくりを図る施設として整備されていることから、早急を実施すべきと考えます。

【花えーる】



○留辺蘂温根湯畑地かんがい推進事業（技術普及支援）

安定した農業生産体制を構築するため、畑地かんがい施設整備の技術普及支援対策は、継続的に事業を進めるべきと考えます。

○畑地帯総合整備事業（担い手育成） るべしべ地区

農業を取り巻く諸情勢がますます厳しくなっていく中で、畑作物の生産性・収益の向上や畑作経営改善・安定を図るとともに、地域における定住の促進や担い手経営者の育成強化を図るため、最優先に実施すべき事業と考えます。

○花園牧場看視舎改修工事

市営花園牧場の看視舎（昭和57年建設）は、築後33年が経過し、経年劣化が進んでおり、施設の延命化を図るため、早急に看視舎の改修を進めるべきと考えます。

○農業振興施設整備事業（花公園根々の丘花壇整備）

根々の丘花壇の整備については、宿根草が根付いていない花壇に新たな花苗を補植し、花公園の花壇整備を充実させることにより、花のある温泉郷としての観光資源のひとつとするため、継続的に花壇整備を進めるべきと考えます。

明渠排水路維持補修事業

排水施設の長寿命化や排水不良の改善が図られるとともに、周辺農地への湛水及び過湿被害が解消されるため、継続的に補修事業を進めるべきと考えます。

農村公園花園まきばの里改修事業

農村公園内にある花園まきばの里のウッドデッキが経年劣化による腐朽が進行し、危険が生じていることから、利用者の安全確保を図るため、早急に改修を進めるべきと考えます。

### 道の駅おんねゆ温泉整備事業

道の駅おんねゆ温泉には山の水族館をはじめとした観光施設の利用者が年間約40万人が訪れており、魅力ある観光施設として今後も持続した観光客等の集客を図るため、最優先で整備を進めるべきと考えます。

### ○石北峠園地周辺補修事業

石北峠は北見市の西の玄関口として多くの観光客が訪れるため、石北峠展望台からの景観形成を図るとともに、利用者が安全に施設を利用できるように、早急に園地周辺の遊歩道整備を進めるべきと考えます。

【石北峠】



### 【優先的に取り組むべき事業】

#### 山の水族館整備事業

## 基本目標5．住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

### 【最優先に取り組むべき事業】

#### ○オーバーレイ舗装整備事業

交通環境の保全と道路の延命化を図るためには、舗装道のオーバーレイや穴埋め等の補修は、早急に実施すべきと考えます。

#### ○留辺蘂町東4条通りオーバーレイ事業

温泉通りと東4条通りについては、山の水族館の効果により集客が増えている道の駅「おんねゆ温泉」から温泉街へと通ずるアクセス道路ですが、不陸や舗装のひび割れが著しく通行に支障がありますので、最優先に整備を進めるべきと考えます。

#### ○留辺蘂町国体通り道路整備事業

国体通りは、国道39号線と中心市街地とのアクセス道路としての役割のほか、幼稚園や保育園、病院、銀行、大型スーパーなどがあり、子供からお年寄りまでの多くの方が利用する道路で、不陸及び滞水の解消が急務であり、周辺住民の環境改善を図るため、早急に事業を進めるべきと考えます。

### 管理樹木安全対策事業

昭和から平成初期にかけて整備した街路樹及び公園樹木の多くが高木へと成長し、道路利用者や公園利用者の通行等に支障となってきたことから、道路・公園利用者の安全と環境の保全を図るため、継続的に樹木の剪定、伐採・伐根を進めるべきと考えます。



#### 留辺薬町堤通り道路整備事業

#### 留辺薬町営林署南通り道路整備事業

住宅地の区画道路ですが、周辺道路は整備済みであることから、基礎的な生活環境の整備を図るため、早急に改良舗装を進めるべきと考えます。

#### 市道二次改築事業

市道（役場西通り、市街川沿通り、上町学園通り）の経年劣化により、補修の範囲を超えた道路を舗装道改修計画に基づき、二次改築するもので、車両走行の安全と交通環境の改善を図るため、早急に事業を進めるべきと考えます。

#### ○市営住宅改善事業

市営住宅については、年次計画に基づき順次建設をしておりますが、建て替えに至らない市営住宅については、よりよい住環境の整備を進めることにより、長寿命化を図ることができることから、早期に事業を進めるべきと考えます。

#### 市営住宅建替事業（東町地区）

公営住宅の木質化や景観的に調和のとれた低層公営住宅の供給を図るとともに、今後の高齢化に伴う高齢者需要への対応として、市街地への定住促進を確保する新たな公営住宅の供給を図るため、最優先に事業を進めるべきと考えます。

#### 【優先的に取り組むべき事業】

##### 留辺薬自治区路面排水整備事業

##### 留辺薬町旭西 1 号通り・ 2 号通り・ 3 号通り整備事業

##### あさひ保育所 2 号・ 東通り、林団地 1 号通り整備事業

##### 普通財産解体事業（留辺薬自治区）

#### 【早期に取り組むべき事業】

##### 留辺薬町旭西 4 号通り道路整備事業

##### ○留辺薬町留辺薬訓子府線道路整備事業

#### 【留辺薬営林署南通り】



#### 【役場西通り】



## 基本目標 6 . 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

#### 【最優先に取り組むべき事業】

##### 留辺薬総合支所外灯改修事業

総合支所敷地に設置している外灯は老朽化が進み、外灯を LED 化することにより、防犯対策の強化を図るとともに、電気の省力化や地域の環境改善を図るた

め、早急に改修を進めるべきと考えます。

#### 留辺蘂総合支所庁舎耐震診断事業

#### 留辺蘂総合支所庁舎改修事業

昭和41年に建築された総合支所庁舎は、築後49年を経過しているため、建物、設備ともに老朽化が進んでいることから、来庁者の安全確保を図るとともに地域の防災施設として住民の安全を確保するためにも、耐震改修促進法及び北見市耐震改修促進計画に基づく耐震診断を早急に実施し、今後必要となる施設整備を検討していくべきと考えます。

【留辺蘂総合支所】



#### (仮)旭コミュニティセンター整備事業

留辺蘂町民会館（昭和44年建設）は、老人クラブや自治会活動など地域コミュニティの中心的な役割を担う施設ですが、経年劣化による老朽化が進んでいる状況にあります。留辺蘂自治区では、今後、高齢化が著しく進展し、ひとり暮らしで孤立する高齢者の増加が想定されるため、地域住民が一体となる地域コミュニティの拠点となる複合化施設として、計画的に整備を進めるべきと考えます。

#### 住民センター改修事業

地域コミュニティの拠点施設として住民センター3館を整備していますが、各施設の暖房設備や放送設備が経年劣化により、故障時の対応ができない状況であることから、早急に施設の改修を進めるべきと考えます。

#### ○留辺蘂まちづくりパワー支援補助金

市民が自ら考え、自ら実践するまちづくり活動を推進することを目的として実施されてきた補助事業で、これまでも多くの有益な事業が実施されていることから、今後も自治区の事情に配慮しながら、市民活動団体へのPRに努めるなど積極的にまちづくり活動を推進すべきと考えます。



## 【協議会の意見】

### ○自治区制度の今後のあり方について

平成18年3月に合併し、10年を迎えようとしています。合併による地域住民の不安を解消するため北見市独自の方式で、自治区設置条例を制定し、自治区制度、総合支所、まちづくり協議会をそれぞれに設置しました。地域の歴史や文化、特性などを尊重し、それぞれの機能を分担しながら地域づくりを進めてきましたが、少しずつではありますが、新市として一体感が生み出され、また、自治区制度も確立されつつあります。

今後も新市としての一体感を醸成することは勿論大事なことです。同様にそれぞれの自治区で取り組まれてきた機能や個性的な地域づくりもしっかりと継承しなければなりません。

### ○今後の地域課題

- 1 自治区制度をより充実していくためには、住民と行政が情報を共有し、知恵を出し合いながら自主的・主体的な取り組みを促進していくための仕組みづくりが必要です。

北見市自治区設置条例第12条では、自治区長は、自治区の円滑な運営と均衡ある発展に資するよう、市長その他の市の機関及び自治区の区域内の公共的団体等との緊密な連携を図るとともに、総合支所及び協議会に関し、これを統理するとなっています。

10年を機に、現行制度の十分な検証を行い、日本で一番長く、道内で最も広い行政区域を有する北見市にとって、真に必要な自治区制度を確立していくためにも、市の憲法である北見市まちづくり基本条例を遵守し、自治区長の権限が最大限発揮され、自治区の特色を大いに活かして、多様化する市民ニーズに即応できるような仕組みづくりを検討する必要があります。

- 2 留辺蘂自治区内は、留辺蘂市街地、温根湯市街地、大和地区、瑞穂地区に分かれておりますが、各地区の公共施設を整備する際には、地域の拠点施設として、新たな市民ニーズへの対応や利便性の向上を考慮するとともに、幼児からお年寄りまであらゆる世代の人たちが利用することができるよう複合化施設として整備すべきと考えます。

- 3 留辺蘂自治区内は、人口の減少と高齢化の進行が著しい地域ですが、地域住民は日頃から自治会活動などを通じて、互いに助け合い、支えあいながら生活を営んでいます。

特に65歳以上の高齢者の割合が、平成27年10月末で45.4%となっており、北見市の4つの自治区の中で最も高齢化率が高いことから、独居世帯となった高齢者がこの自治区に住み続けられなくなって転出するといった状況も数多く見られ、空き家も年々増えてきています。

このようなことから、今後においても、高齢者が住みなれた地域で安全で安

心して暮らせるまちづくりを進めるため、通院や買い物困難者の解消に向けた交通対策の検討を進めるとともに、留辺蘂地区の中心市街地に居住できるような公営住宅の建設や空き家対策を最優先に進めるべきと考えます。

このほか、小規模多機能型居宅介護サービスなどの各種介護サービス、施設サービスや地域密着型サービスのほか、高齢者居住地域の集約化を進め、医療関係や介護保険施設と連携を図るなど、留辺蘂自治区を高齢者が地域社会に溶け込み、地元住民や子ども・若者などの多世代と交流・共働する「オープン型」の政策推進地域として、北見市高齢者保健福祉計画や北見市介護保険事業計画などの各種福祉計画に位置付け、先進的・重点的に施策を進めるべきと考えます。

- 4 当地域の豊富な森林資源を守り、次世代に引き継いでいくためには、森林の適切な育成管理と利活用を促進させることが重要です。

地域材の利用推進等により、留辺蘂自治区の基幹産業である林業・林産業の振興を図るため、「北見市地域材利用推進方針」に基づき、今後整備が予定されている公共施設の木造・木質化に向けた取り組みを進めるべきと考えます。

このほか、エネルギー対策としても、唯一の再生可能資源である森林資源を活かした木質バイオマスエネルギーの利用推進を図るとともに、バイオマス発電の可能性を検討するなど、持続可能な森林整備を進めるべきと考えます。

- 5 平成24年7月にリニューアルした「山の水族館」の集客効果を一過性にしたくないために、常呂カーリングホールなどの他自治区の観光スポットと連携した取り組みを行うなど、関係団体等が連携しながら、北見市が一体となって観光推進体制に取り組んでいくことにより、点から線、さらには面的な観光施策の展開を進めていくべきと考えます。

また、当地域で生産される農産物や林産物に機能性や付加価値を高めた食品や木製品などの開発や製造、販売まで行うことにより、農林業、工業、商業の連携と地場産業の6次産業化を進めるとともに、地域の人材育成に取り組んでいくべきと考えます。

- 6 JR北海道は、経営合理化の一環として、平成28年3月のダイヤ改正に合わせて金華駅の廃止、留辺蘂駅の無人化、北見 - 留辺蘂間の普通列車を減便する旨の方針であるとの報告を受けましたが、石北本線は、オホーツク管内と旭川・札幌を結ぶ唯一の鉄道路線であり、通勤・通学・通院等地域住民にとって重要な役割を担っている公共交通機関であると認識しております。

駅の廃止・無人化及び列車が減便されることになれば、利用者にとっては大幅な利便性の低下となり、駅舎及び周辺の防犯など安全管理の不安や周辺環境の悪化、また、地域の衰退に拍車がかかることが懸念されることから、利用者にとって不便とならないよう運行時間の見直しについて交渉を進めるとともに、駅舎及び周辺の安全性等が確保されるようJR北海道との交渉を進めるべきと考えます。

留辺薬まちづくり協議会における協議経過
---------------------

協議回数	開催日	場 所	内 容
1	9月 2日(水)午後6時	留辺薬町公民館	諮問 (1)留辺薬自治区内事業の今後のあり方について
2	10月15日(木)午後6時	留辺薬町公民館	議題 (1)留辺薬自治区内事業の今後のあり方について
3	10月28日(水)午後6時	留辺薬町公民館	議題 (1)留辺薬自治区内事業の今後のあり方について
4	11月 5日(木)午後6時	留辺薬町公民館	議題 (1)留辺薬自治区内事業の今後のあり方について
5	11月18日(水)午後6時	留辺薬町公民館	議題 (1)留辺薬自治区内事業の今後のあり方について

## 留辺蘂自治区要望事業一覧

### 1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

#### (1) 防災の強化

1	河川改修事業	護岸改修工事(旭川 L=187m、豊金川 L=25m、2号川 L=95m)
2	留辺蘂自治区河川土砂上げ事業	堆積土除去工事、支障木伐採(ハナワビバウシ川、大和川)
3	道路維持作業用自動車更新事業	車両更新
4	街路灯LED化事業	街灯更新 70基

#### (4) 地球環境保全と循環型社会の構築

5	広域連携PFI最終処分場期間延長事業	運営期間延長に関する協議支援業務
6	留辺蘂総合支所重油地下貯蔵タンク腐食防止対策事業	地下貯蔵タンクのFPR内面コーティング

#### (5) 快適な生活空間の整備

7	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	都市公園の施設更新(中央公園)
8	公園安全対策事業	遊具等更新(上町団地児童遊園地、旭南団地児童公園、温根湯東児童公園)

### 2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

#### (2) 生涯学習の充実

9	留辺蘂町公民館耐震診断・現況調査事業	耐震診断・現況調査実施
10	留辺蘂町公民館自動扉部品取替修繕事業	自動扉装置の取替え

#### (4) 小中学校教育の充実

11	留辺蘂小学校改築事業	校舎・屋体・プール改築工事、旧校舎・屋体・プール解体実施設計及び解体工事、学校備品購入、外構・グラウンド工事
12	スクールバス整備事業	スクールバス(45人乗り)の購入 1台
13	給食センター改築事業	給食センター改築工事、旧給食センター解体実施設計及び解体工事
14	給食センター改築に伴う備品購入事業	給食センター改築に伴う施設備品の更新
15	給食配送車購入(更新)事業	給食配送車更新 1台

#### (7) 青少年の健全育成

16	留辺蘂児童館建設事業	児童館建設、施設備品等購入、旧児童館解体工事
----	------------	------------------------

#### (9) 芸術・文化活動の振興

17	留辺蘂町青少年会館陶芸窯更新事業	陶芸窯の更新
----	------------------	--------

#### (10) 生涯スポーツの振興

18	休養施設ぱるむ畳修繕事業	畳表替え 52枚
19	留辺蘂町体育館耐震診断・現況調査事業	耐震診断・現況調査実施
20	八方台スキー場人工降雪用ポンプ設備更新整備事業	人工降雪用ポンプ設備更新
21	旭公園第一野球場改修事業	第一野球場得点板改修、バックスクリーン塗装
22	旭公園多目的グラウンド整備事業	旭公園多目的グラウンド整備実施設計(地盤調査含む)・工事

23	八方台森林公園パークゴルフ場架橋改修事業	パークゴルフ場架橋改修工事調査設計・工事(コース連結橋、駐車場連結橋)
----	----------------------	-------------------------------------

(11)文化財の保護・継承

24	エゾムラサキツツジ群落開放に係る防火用備品更新事業	防火備品の更新
----	---------------------------	---------

### 3. 支えあい、一人ひとりを大切にすまちづくり

(5)高齢者福祉の充実

25	養護老人ホーム静楽園施設整備	施設機器類の更新(蒸気ボイラー、減圧弁交換、温度調節器、排煙濃度指示計、中央監視装置、膨張タンク、ろ過機部品交換、自動火災報知設備アナログ式感知器交換等)
26	養護老人ホーム静楽園調理器整備	給食用調理器具更新(スチームオープン、パススルー冷蔵庫同機種2台、給茶機、立体炊飯器、ガスレンジ、ガスフライヤー、包丁まな板殺菌庫、調理台、シェルフ、製氷機等)
27	養護老人ホーム静楽園災害時備蓄食料品整備	災害時用備蓄食料品

### 4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

(2)地域特性を活かした農業の振興

28	農業振興施設整備事業(花えーる整備)	「おんねゆ温泉農業交流センター花えーる」外壁木部・屋根塗装工事
29	留辺蘂温根湯畑地かんがい推進事業(技術普及支援)	畑地かんがい施設整備後の技術普及支援面積 614.6ha
30	畑地帯総合整備事業(担い手育成)るべしべ地区	排水路(調査設計、用地費、工事)
31	花園牧場看視舎改修工事	看視舎塗装工事
32	農業振興施設整備事業(花公園根々の丘花壇整備)	花壇土壌改良及び花苗植栽、公園内の河川ぶちの柳撤去
33	明渠排水路維持補修事業	明渠排水路の補修及び土砂上げ L=1,500m
34	農村公園花園まきばの里改修事業	ウッドデッキ撤収・改修工事

(7)新たな観光資源の活用

35	道の駅おんねゆ温泉整備事業	「クリーンプラザおんねゆ」自動ドア装置取替工事・トイレ洋式化工事、からくりハト時計塔「果夢林」改修工事、花菖蒲畑整備事業
36	山の水族館整備事業	山の水族館北側雪解水処理工事
37	石北峠園地周辺補修事業	石北峠展望台への遊歩道整備、石北峠展望台景観整備

### 5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

(2)道路網の整備

38	オーバーレイ舗装整備事業	オーバーレイ 6路線
39	留辺蘂町東4条通りオーバーレイ事業	オーバーレイ工事(東4条通り L=280m)
40	留辺蘂自治区路面排水整備事業	調査設計、排水施設整備(雨水柵及び縦断管)
41	留辺蘂町国体通り道路整備事業	歩道改築(舗装部のみ) L=895m、街路灯改築(塗装・架空配線)
42	留辺蘂町旭西1号通り・2号通り・3号通り整備事業	調査設計 L=370m、改良舗装工事 L=185m
43	留辺蘂町旭西4号通り道路整備事業	調査設計 L=181m
44	管理樹木安全対策事業	剪定及び伐採(温泉通り、東4条通り、おんねゆ温泉つつじ公園)
45	留辺蘂町留辺蘂訓子府線道路整備事業	調査設計 L=420.96m

46	留辺薬町堤通り道路整備事業	調査設計、改良舗装工事 L=125m
47	留辺薬町営林署南通り道路整備事業	調査設計、改良舗装工事 L=180m
48	市道二次改築事業	調査設計(役場西通り、市街川沿通り、上町学園通り)、改良舗装工事(役場西通り、市街川沿通り)
49	あさひ保育所2号・東通り、林団地1号通り整備事業	調査設計、改良舗装工事 L=400m

(4) 良好な住宅・住環境の創出

50	普通財産解体事業 (留辺薬自治区)	普通財産(旧厚和会館)解体撤去 (構造:木・亜・平 / 建築年月日:S42.8.1 / 面積:52.17㎡)
51	市営住宅改善事業	住戸内(浴室ユニットバス化・3箇所給湯設備・内窓プラスチック化・換気設備改修・給水管の取替え)の改善事業(公園団地3棟6戸、上町団地5棟10戸)
52	市営住宅建替事業(東町地区)	測量業務(5,100㎡)、地盤調査及び基本・実施設計(3棟24戸)、既存職員住宅解体工事(4棟8戸)、建設工事(2棟16戸)

## 6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

(2) 行政サービスの向上

53	留辺薬総合支所外灯改修事業	総合支所敷地 外灯のLED化 5基
54	留辺薬総合支所庁舎耐震診断事業	耐震診断、現況調査
55	留辺薬総合支所庁舎改修事業	庁舎身障者用トイレ オストメイト対応設備1基、温水洗浄便座新設、庁舎正面外東側自動ドア(1枚片開き)更新、庁舎ボイラー配管及び暖房設備更新

(5) 住民自治の推進

56	仮)旭コミュニティセンター整備事業	基本調査、外構設計委託、現地測量委託、用地購入、基本・実施設計、地質調査、本体建設工事、非常発電設備、施設備品購入、避難所用備品、解体工事実施設計
57	住民センター改修事業	はあとふる(暖房機改修工事及び基本・実施設計、外構整備工事、防犯カメラ修理等)、西区住民センター(会議室暖房機更新)、町民会館(放送ワイヤレス設備更新)
58	留辺薬まちづくりパワー支援補助金	5人以上の団体が行う安全安心な地域づくり、地域の生活環境の改善、自然環境保全、地域の伝統・文化・スポーツの振興、子どもの健全育成、地域の特性を生かした産業振興、その他個性豊かな住みよい地域社会の構築などのまちづくり活動事業に対し、補助する。

【留辺薬まちづくり協議会委員】

[ 委嘱期間H26.6.14~H28.6.13 ]

	氏 名
委 員	荒 武 文
委 員	生 田 将 啓
委 員	石 田 敏 明
委 員	稲 村 幸 宏
委 員	大 江 友 広
○副 会 長	笠 原 信 廣
委 員	菊 池 達 也
委 員	坂 口 信 一
委 員	菅 波 正 樹
委 員	高 橋 純 子
委 員	高 橋 澄 枝
委 員	福 浦 重 敏
委 員	山 梨 則 子
委 員	山 久 仁
会 長	横 田 正 純

50音順